

原発10基が立地しているのは双葉町、大熊町、富岡町、楢葉町ですが、立地地域全体としては葛尾村、浪江町、川内村、広野町を加えた双葉郡と呼ばれる8町村で構成されている。

避難指示が出た区域をもつ自治体は●印の付いた12市町村で、うち人が住んでいない総面積は1,150平方Km。

その広さは大阪府の6割、東京都の5割に当たる広大な面積となっている。

役場を他の市町村に移転したのは▲印の付いた9町村。うち現在まで移転先から戻ったのは川内村と広野町のみ。

いわき市で起こったこと

現在いわき市に住む避難者は県内最多の2万4,000人、加えて収束や除染の作業に働く人が約6,000人と見られている。2012年末から13年夏にかけて「避難者帰れ」の落書き事件、仮設住宅内に駐車していた自家用車7台のフロントガラスが割られる事件、仮設住宅に向けた花火打ち上げ事件などが発生。背景には東電と政府の分断・対立の持ち込みがあるとみられる。

